

東京都立 あきる野学園

明日を拓こう

学校教育目標 すすんで社会に参加する自立した人間の育成を目指す

- (1) 自分の可能性をできるだけひろげよう。
- (2) 社会人として求められる力を身に付けよう。
- (3) 社会のあり方を知り、自らすすんで参加しよう。

あきる野学園キャラクター

ふたばちゃん





令和7年度 在校児童・生徒数 (令和7年5月1日現在)



肢体不自由教育部門

	普通学級	重度重複学級	訪問学級
小学部	8名	7名	1名
中学部	10名	6名	—
高等部	7名	—	1名



知的障害教育部門

	普通学級	自閉症学級	重度重複学級
小学部	101名	—	8名
中学部	44名	20名	—
高等部	86名	—	5名



通学

- 肢体不自由教育部門の通学区域
- 知的障害教育部門の通学区域
- 両部門の通学区域



スクールバスや公共交通機関を使った一人通学など一人ひとりに合わせた方法で登下校をしています。



スクールバス



登校	1便下校	2便下校
8:40	14:05	15:35



主な施設



グラウンド



体育館



プール（屋内）



図書室



清掃ルーム



オフィスルーム



食品加工室



木工室



ふたばルーム（相談室）



パソコン室



音楽室



美術室



あきる野学園の教育課程



肢体不自由教育部門

●3つの教育課程

児童・生徒の学習ニーズに応じた学年・学級をまたいだ学習グループを編成

準ずる教育課程

小学校、中学校、高等学校とほぼ同じ授業内容に加え、「自立活動」の授業を実施

知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程

肢体不自由児への対応をしながら知的障害教育部門同様の授業を実施

自立活動を主とする教育課程

個別の学習課題について、健康の保持、心理的な安定など6つの区分からなる「自立活動」を中心とした授業を実施



知的障害教育部門

●「知的障害特別支援学校の各教科」を段階的に指導

知的障害特別支援学校の各教科（☆教科と表記）の指導内容を小学部から高等部まで12年間で学ぶ単元を一覧化

●各教科・各教科等を合わせた指導

「☆国語」「☆算数（数学）」「☆音楽」「☆図画工作（美術）」などの教科の授業の他、各教科等の内容を合わせた「日常生活の指導」「生活単元学習」「作業学習」などの指導の形態による授業

●教育課程の類型化

各学部共に、普通学級と重度・重複学級を置き、それぞれの教育課程を編成。小学部・中学部の普通学級では、「知的障害の教育課程」「自閉症の教育課程」を設定。高等部の普通学級は、障害の状態や特性、心身の発達の段階、学習の習得状況などに応じて、「社会自立類型」「社会基礎類型」の2つの時間割に分かれ、きめ細かな授業を実施。



1年間の学校生活



←くわしい内容はここから

04

始業式・入学式



05

あきる野学園
スポーツフェスティバル



06

移動教室



07

総合防災訓練
終業式



08

夏休み



09

始業式・移動教室



10

修学旅行



11

ふたば祭



12

終業式・修学旅行



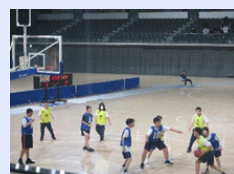
01

始業式
生徒会選挙



02

開校記念日
都バスケットボール大会



03

卒業式・修了式





肢体不自由教育部門の紹介

小学部



☆生活

- 準ずる教育課程：小学校の指導内容に準じて教科指導を行います。他に自立活動の時間を設定し、身体を取り組みを中心とした指導を行います。
- 知的代替の教育課程：基本的な生活習慣を身に付けるとともに、各教科等の学習で言葉や数の理解力を高めつつ、生活に必要な力や自主自立の気持ちを育みます。
- 自立活動を主とする教育課程：自立活動や各教科等の学習を通して、健康維持、心理的安定、人間関係の形成、環境理解、身体の動き、コミュニケーションの基礎を学びます。

1日の流れ（例）

自立活動を主とする児童の教育課程 5年生

8:45	学級での指導
	日常生活の指導
	☆国語
	自立活動
11:30	給食・昼休み
	自立活動
	自立活動
	☆生活
	自立活動
15:30	学級での指導

中学部



総合的な学習の時間

- 準ずる教育課程：中学校の指導内容に準じて教科指導を行うほか、自立活動の時間を行います。高等部進学だけではなく、高等学校への進学も視野に入れた指導を行います。
- 知的代替の教育課程：身近自立の力を高めるとともに、小学部で培った教科学習の力を伸ばしながら、生活単元学習や作業学習などを通して生活に必要な力を高めます。
- 自立活動を主とする教育課程：成長に伴う身体の変化に配慮しながら、自立活動や各教科等の学習を通して、健康維持、心理的安定、人間関係の形成、環境理解、身体の動き、コミュニケーションの力を伸ばします。

1日の流れ（例）

知的障害を併せ有する生徒の教育課程 2年生

8:45	学級での指導
	日常生活の指導
	☆理科
	☆保健体育
12:05	日常生活の指導
	給食・昼休み
	自立活動
	特別活動
	総合的な学習の時間
15:30	学級での指導

高等部



数学 I

- 準ずる教育課程：自発的な学習習慣を身に付け、社会参加に向けて主権者意識を高める指導を大切にします。2年次からは進学や企業就労など、進路希望に応じた教育課程を選択します。
- 知的代替の教育課程：自分でできることは自分でやり、必要な時には援助を依頼できる力を高めるとともに、集団での教科学習や職業、作業学習、現場実習などを通して、卒業後の社会参加への意欲やスキルを身に付けます。
- 自立活動を主とする教育課程：個に応じた身体への取り組みに加え、コミュニケーション力を高め、卒業後の社会参加に向けた意欲や態度を育てます。

1日の流れ（例）

準ずる教育課程 2年生

8:45	学級での指導
	地理総合
	英語コミュニケーションII
	国語表現
12:40	総合的な探究の時間
	給食・昼休み
	理科（選択）
	理科（選択）
15:30	学級での指導



知的障害教育部門の紹介

小学部



生活単元学習

- 低学年（１年生～３年生）では、基本的な生活習慣の確立を図ります。また、教員との信頼関係を築き、伝える力を育成するとともに、学校生活に慣れ、物事への見通しがもてる力を育てます。各教科等の学習では、主体的に学習に取り組む意欲を育てます。
- 高学年（４年生～６年生）では、低学年での取り組みに加え、人と豊かに関わろうとするコミュニケーション能力を育成します。また、対人関係の形成における基礎的な力を育成するとともに、日常生活に必要な読み書き計算の力を育てます。

１日の流れ（例）

普通学級 ５年生

8:50	日常生活の指導
	☆国語/算数
	☆体育
	☆体育
	☆国語
	日常生活の指導
12:10	給食
	日常生活の指導
	昼休み
	生活単元学習
	クラブ活動
15:25	日常生活の指導

中学部



作業学習

- 場にあった振る舞いを学び、自立と社会参加のための基盤を育てます。社会性、対応力、思考力、身体力、自律力の５つの力を身に付けることを目標に学習に取り組みます。
- 作業学習では学年ごとに作業班を編成し、作業服で授業を行います。もの作りや清掃、リサイクルなどの活動を通して自分の役割を理解し、協力しながら作業に取り組む力を育てます。
- 授業は教科担当制になり、教科によっては学年を超えた授業担当者が、専門性の高い授業を行います。

１日の流れ（例）

普通学級 ３年生

8:50	日常生活の指導
	☆保健体育
	☆国語/数学
	作業学習
12:10	給食・昼休み
	☆社会
	☆理科
15:25	日常生活の指導

高等部



☆情報

- 様々な教育の場で育ってきた生徒たちと共に学校生活を送る中で、自己肯定感を育み、卒後に向けての自立と社会参加をする力を身に付けます。
- ２年生からは社会基礎類型と社会自立類型に分かれ、生徒一人ひとりの実態に応じた学習グループで、教科学習や作業学習を行います。
- 作業学習では、ものづくりや農園芸、軽事務、清掃などの実地的な作業を通して、卒後の自立と社会参加に向けたスキルや働く態度を育成します。
- 就業体験や現場実習では「経験や体験を通して選択する」プロセスを大切に、家庭と連携しながら、進路選択・決定を支援します。

１日の流れ（例）

社会自立類型（Ⅲ類型） ３年生

8:50	学級での指導
	☆職業
	☆情報
	☆社会
	☆外国語
12:15	給食・昼休み
	☆職業
	☆理科
15:25	社会生活の指導



自立活動の指導

自立活動室では
主に身体の動きに関する指導を行っています。



自立活動室には、教室にないような大型遊具や装置があります。

ダイナミックな動きを引き出したり、ゆっくり体をほぐして次の活動へ向かう準備を行ったりしています。

その他にも、自立と社会参加に向けて様々な指導を行っています。

- 健康の保持
- 環境の把握
- 心理的な安定
- 身体の動き
- 人間関係の形成
- コミュニケーション



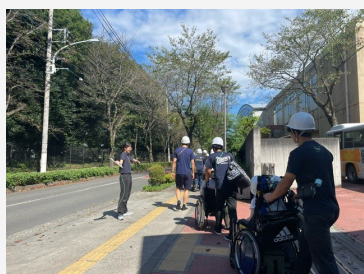
あきる野学園に來ている外部専門員

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、公認心理士、視能訓練士、
教材アドバイザー、ICTアドバイザー、水泳指導アドバイザー、歯科医師（摂食）
司書、作業学習アドバイザー



安全への取り組み

避難訓練



火災訓練 4 回、地震訓練 4 回、
水害訓練 1 回、竜巻訓練 1 回、
総合防災訓練 1 回

有事の際に児童・生徒・教員
が迅速に行動できるよう、毎回
異なる状況を想定した訓練を
行っています。

総合防災訓練



毎年 1 回、大地震の際に交通
機関が動かなくなってしまう
時を想定して行う訓練です。
保護者と情報共有を図り、
安全に引き渡し訓練を行います。
スクールバス乗車中の救助を
想定した救助訓練も実施しま
した。

宿泊防災訓練



高等部 1 年生の生徒を対象
に、発災時の校内宿泊経験を
通して、生徒の防災意識を高
めることをねらいとした訓練
です。今年度は、総合防災訓
練と同日に実施します。



あきる野学園の進路指導

高等部 進路指導の流れ

1 年 生

2 年 生

3 年 生

校外での
学び

体験
↓
進路選択

就業体験

- 教員と一緒に
- 1 日体験
- 複数回の実施
- 自己の適正の理解
- 興味・関心を広げる

現場実習

- 1 人もしくは教員と一緒に
- 1 日～1・2 週間
- 希望を絞り込んでいく
- 複数回の実施

特別実習

入社・利用前実習
事業所の必要に応じて
引継ぎ・支援機関連携

授業



ビジネスマナー講座の様子



肢体不自由
教育部門

● 作業学習（クラフト製作など） 作業を通して働く力とコミュニケーション力の育成

● 職業 自立と社会参加、自己理解、ビジネスマナー、ワークトレーニングなど

● 自立活動 ADL（日常生活動作）、体の動き、コミュニケーション、感覚や認知など



知的障害
教育部門

● 作業学習（食品加工・農園芸・ハンドワーク・窯業・事務・清掃等） 作業を通して働く力と態度の育成

● 職業 働く意義、分業・分担、職業生活（働く・暮らす・余暇・健康）など

● 自立活動 ADL（日常生活動作）、体の動き、コミュニケーション、感覚や認知など

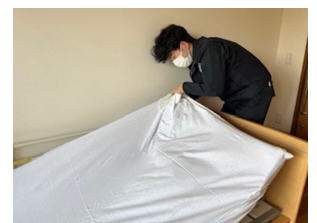
過去 5 年間の卒業生進路先

	企業就労	福祉就労	進学	在宅	その他
肢体不自由教育部門	2	14	2	4	0
知的障害教育部門	52	80	0	8	2

企業 就労

企業就労者の内、半数の卒業生が特例子会社での清掃業務や高齢者施設等での清掃や消毒業務など直接介護ではない補助的業務で就労しています。

多摩地域（市部）での就労が多い傾向にありますが、事務補助業務に関わっている方は都心まで通勤する方もいます。



ベッドメイキング

福祉 事業所

知的障害教育部門では、作業活動を主に行う就労継続支援 B 型事業所に通う方が 6 割弱います。

肢体不自由教育部門の多くの方は、（重心を含め）生活介護事業所に通っています。



紙折り

センター的機能



研修会の開催



夏季特別支援教育研修会、摂食に関する研修会など、毎年テーマを設定して専門性を高める研修会を開催しています。

学校等への支援



学区域の小中学校、高等学校、就学前施設等の要請に応じて訪問し、相談支援を行います。

研修会講師



各種研修会等の講師として、特別支援教育についてお話します。また、教員向けに特別支援学校の見学も受け入れています。

就学・入学・転学相談



学区域の教育委員会、東京都教育委員会と連携して対応します。就学前のお子さん対象に特別支援学校を見学、体験する機会を設けています。

理解推進教育の推進



本校の教員が地域の小・中学校を訪問し、児童・生徒に向けて、副籍交流や障害理解についてお話する出前授業を行います。

関係機関との連携



学区域の自治体による「自立支援協議会」「関係者会議」等に参加します。そのほか、医療機関、福祉サービス提供施設等と連携します。

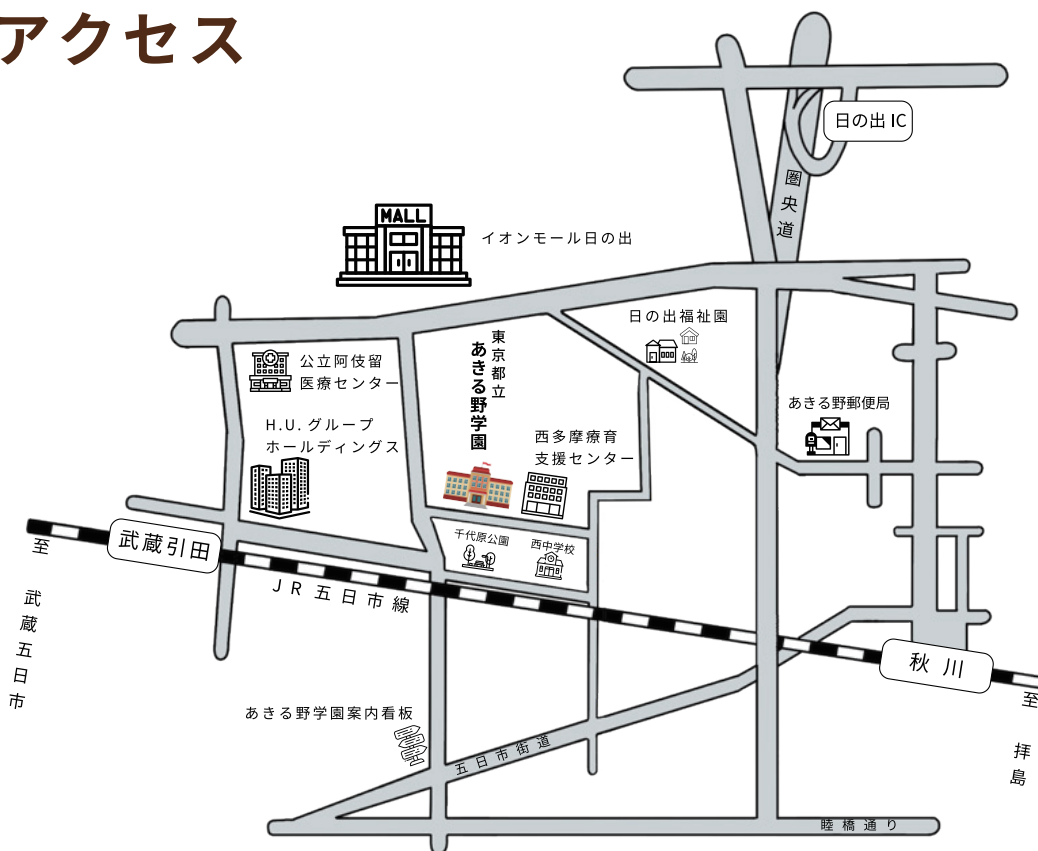
相談・情報提供活動



支援を必要とする児童・生徒に関わることにについて、幅広く相談を受け、情報提供を行います。

お気軽に特別支援教育コーディネーターあてにお電話ください。

アクセス



JR 五日市線
武蔵引田駅
下車 徒歩 10 分



西東京バス
イオンモール日の出
下車 徒歩 6 分

東京都立あきる野学園

住所：〒197-0832 東京都あきる野市上代継 123-1

電話：042-558-0222

ファクシミリ：042-558-0074

ホームページ：https://akiruno-sh.metro.ed.jp

